

矢祭町 矢祭子ども司書講座

1 経緯

矢祭町では、全国から善意で集まった図書で開館した「矢祭もったいない図書館」を拠点として、読書のまちづくりに力を入れて取り組んでおります。

読書を推進する上では、子どもの時に本に親しむことが重要であることから、地域や学校とも連携して、子ども達の中からリーダーを育成して本を薦める役割を担ってもらおうという、全国でも初めての矢祭子ども司書講座が開講されました。

2 内容

児童が全国からの善意に感謝の心を持って楽しく本に親しみ、豊かな心と将来に夢や希望を膨らませるとともに、司書についてのノウハウを習得し、友達や家族に対して読書の素晴らしさを伝え、本と人との結びつきを手助けするリーダー養成を図ることを目的としています。

町内に住む小学4年生から6年生の希望者を対象に講座が行われます。第1期生となる平成21年度は14人が参加して行われています。

3 カリキュラム

次のようなカリキュラムになっています。講師は、矢祭もったいない図書館運営委員、図書館教育連携推進校である矢祭町立東館小学校の職員、社団法人俳人協会の指導員等となっています。

- 1回目 開講式、オリエンテーション、県立図書館司書講座
- 2回目 ジュニア俳句スクール in 矢祭
- 3回目 手づくり絵本教室
- 4回目 日本十進分類法（NDC）による図書の分類と配架
- 5回目 視察研修旅行
（他の図書館、絵本の美術館の見学）
- 6回目 図書の保管と修理
- 7回目 おはなし会への参加
- 8回目 図書の検索、受付、登録、貸し出しと返却
- 9回目 パソコン講座
- 10回目 パソコン講座
- 11回目 ジュニア俳句スクール
- 12回目 読み聞かせのための選書
- 13回目 読み聞かせの技能
- 14回目 読み聞かせの技能
- 15回目 閉校式、認定書授与



矢祭もったいない図書館の外観



講座の様子